

# 令和元年度 山形県地域年金展開事業 取組状況(中間報告)

自 平成31年 4月 1日  
至 令和元年11月30日

山形年金事務所  
(山形県代表事務所)



日本年金機構

Japan Pension Service

# 目次

1	地域連携事業	2頁
2	年金セミナー事業	7頁
3	地域相談事業	10頁
4	年金委員活動支援事業	14頁
5	「ねんきん月間」「年金の日」の取組	18頁
6	「わたしと年金」エッセイ	19頁
7	第11回山形県年金ポスターコンクール	19頁
8	山形県地域年金事業運営調整会議	20頁
9	ねんきんネットの利用促進	23頁

# 1 地域連携事業

## (1)年金制度説明会の開催及び研修会等への講師派遣状況

年金制度の周知を図るため、年金制度説明会の開催や各種機関・団体、企業が主催する研修会等に講師を派遣しました。

事務所	企業・その他		自治体・公的機関等		社会保険労務士会		社会保険協会		年金協会連合会		11月末合計		年間計画
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数
山形	9回	458名	2回	42名	1回	35名	2回	194名	(1回)	(70名)	14回	729名	15回
鶴岡	2回	273名	4回	84名	1回	35名	3回	204名	(2回)	(102名)	10回	596名	10回
米沢	2回	113名	—	—	—	—	3回	170名	(2回)	(104名)	5回	283名	12回
新庄	2回	102名	—	—	—	—	2回	48名	(1回)	(13名)	4回	150名	6回
寒河江	3回	196名	—	—	—	—	3回	142名	(2回)	(102名)	6回	338名	7回
合計	18回	1,142名	6回	126名	2回	70名	13回	758名	(8回)	(391名)	39回	2,096名	50回
昨年同月末の状況	16回	2,939名	5回	114名	4回	121名	13回	700名	0回	0名	38回	3,874名	

## (2)市町村担当者との打合せ等

年金事業の円滑な運営・推進のためには市町村との連携が不可欠であることから、各年金事務所において、管轄市町村の担当職員との打合せや研修会を行うとともに、全市町村の新任担当職員を対象とした事務研修会を開催しました。また、制度周知・啓発のため、市町村向け情報誌「かけはし」を提供しました。各種打合せの際には、「年金生活者支援給付金制度」等の法改正にかかる事務処理や「年金相談予約制」について説明しました。

事務所	管内市町村		県全体		連携	11月末合計		年間計画
	回数	参加者数	回数	参加者数		回数	参加者数	
山形	1回	5名	1回	30名	5回	7回	35名	10回
鶴岡	1回	14名	—	—	5回	6回	14名	10回
米沢	1回	9名	—	—	5回	6回	9名	10回
新庄	2回	24名	—	—	5回	7回	24名	10回
寒河江	1回	5名	—	—	5回	6回	5名	10回
合計	6回	57名	1回	30名	25回	32回	87名	50回
昨年 同月末 の状況	8回	76名	2回	79名	20回	30回	155名	

### (3)関係機関・関係団体との連携状況

年金制度の周知・啓発事業を推進するため、関係機関、関係団体等と打合せ会などを開催しました。また、チラシの設置やポスターの掲示を依頼しました。主な取組は次のとおり。

- ①山形県社会保険協会と連絡協議会を開催し、年金制度研修会等への講師派遣や広報誌「社会保険やまがた」に記事を提供するなど連携を図りました。
- ②山形県社会保険労務士会と業務連絡会議を開催し、年金相談窓口等の運營業務委託に関する調整や厚生年金適用・調査事務にかかる打合せを行いました。
- ③協会けんぽと連絡会議を開催し、年金委員・健康保険委員功労者表彰伝達式の開催や年金委員・健康保険委員の委嘱拡大勸奨等の取組みについて連携を図りました。
- ④商工会議所、事業所等へ、「年金生活者支援給付金制度」のリーフレットやポスター、「ねんきん月間」のチラシや「年金の日」のポスター等掲示等協力を依頼しました。

事務所	社会保険協会	年金協会連合会	社会保険労務士会	協会けんぽ	運営調整会議	官公署	その他	11月末合計	年間計画
	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数
山形	9回	1回	10回	4回	1回	5回	8回	38回	40回
鶴岡	2回	1回	—	—	—	2回	15回	20回	20回
米沢	3回	1回	—	—	—	—	4回	8回	8回
新庄	—	—	—	—	—	—	10回	10回	8回
寒河江	1回	1回	—	—	—	4回	1回	7回	8回
合計	15回	4回	10回	4回	1回	11回	38回	83回	84回
昨年同月末の状況	12回	3回	13回	8回	1回	10回	22回	69回	

## (4)地域型年金委員との連携状況

地域住民に対して、公的年金制度の重要性を説明し、啓発を行うとともに、年金に関する相談や助言を行っていただいている地域型年金委員に対し、四半期に1回程度連絡会を開催し、情報の共有や委員相互の交流を図りました。また、県内年金事務所の枠を超えた合同研修会を11月に開催しました。

事務所	連絡会		研 修		11月末合計		年間計画
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数
山 形	2回	27名	1回	29名	3回	56名	6回
鶴 岡	2回	10名	—	—	2回	10名	5回
米 沢	3回	11名	2回	7名	5回	18名	5回
新 庄	3回	9名	1回	—	4回	9名	5回
寒河江	2回	7名	1回	—	3回	7名	5回
合 計	12回	64名	5回	36名	17回	100名	26回
昨年同月末 の状況	8回	66名	4回	24名	12回	90名	

注 研修は、合同開催のため各事務所に回数を登録しましたが、参加者数は山形に一括計上しました。

## (5) 市町村担当者向け情報誌「かけはし」の活用

県内市町村に対し2カ月に1回発行の定期的情報誌として提供しています。内容は、障害年金講座や国民年金保険料免除申請書等各種申請書類受付事務にかかる留意点等を掲載し、充実した内容になっています。

## (6) 報道機関との連携状況

山形県政記者クラブを通して、各報道機関に対し、7月に「地域年金事業運営調整会議の開催」、11月には「年金委員・健康保険委員表彰伝達式の開催」や「ねんきん月間の取組み」「第11回山形県年金ポスターコンクール審査結果」等の周知を行いました。

## (7) 地域連携事業の取組結果

### 取組結果

- ・年金制度説明会は、関係機関(団体)との連携により、計画数50回に対し、11月現在39回の実施状況となっています。これまでの取組みを基本として、より多くの方々に年金制度を理解していただくために、引き続き、関係機関(団体)等へアプローチをしていきます。
- ・市町村担当職員研修・打合せ等は、計画どおり実施できています。引き続き、担当職員のニーズに合った研修を実施していきます。
- ・地域型年金委員連絡会は、山形県として今年度は四半期に1回程度の開催を計画しましたが、11月末現在、計画を下回っている状況です。年度末までに計画を実行し、年金委員の意見要望を積極的に取り入れ連携を強化していきます。

## 2 年金セミナー事業

### (1) 教育機関別年金セミナーのアプローチ状況

次世代の主役となる若年層から、年金制度の仕組みや必要性について理解を深めていただき、納付意識の向上や年金受給権の確保に結び付けるために、年金セミナー事業を推進してきました。今年度も、県教育委員会（教育長）をはじめ県教育庁等を訪問し事業の趣旨説明を行い、県内の高等学校・大学等101校に対しては年金セミナーの開催について文書で要請を行いました。地域年金推進員（教職員OBに委嘱、現在山形1名、米沢1名）をはじめ、各年金事務所において、年金セミナーの実施に向けたアプローチを行いました。

事務所	大学・短大		専門学校		高等学校		11月末合計		
	対象校数	勧奨数	対象校数	勧奨数	対象校数	勧奨数	対象校数	勧奨数	実施率
山形	8校	4校	15校	13校	18校	27校	41校	44校	107.3%
鶴岡	3校	3校	4校	5校	17校	30校	24校	38校	158.3%
米沢	3校	3校	1校	1校	15校	22校	19校	26校	136.8%
新庄	—	—	3校	3校	8校	7校	11校	10校	90.9%
寒河江	—	—	—	—	6校	5校	6校	5校	83.3%
合計	14校	10校	23校	22校	64校	91校	101校	123校	121.8%
昨年同月末の状況	14校	11校	23校	26校	64校	92校	101校	129校	127.7%



## (2)教育機関別の年金セミナー実施状況

11月現在、大学については昨年同等、高等学校については上回っている状況ですが、全体的に、今年度も2月、3月に集中する傾向にあり、予定校について確実に実施します。引き続き、翌年度も含めたアプローチの内容として、年間を通じた期間の中で実施校を増やします。

また、一昨年7月の運営調整会議において、ご助言をいただきました「税務署とのコラボ開催」については新たな方向性を失わず、引き続き念頭に置き対応していきます。

地域年金推進員は、年金セミナーの講師(他事務所を支援)を務めるとともに、若手職員のプレゼン能力の育成を図ってきました。

事務所	大学・短大			専門学校			高等学校			11月末合計			年間計画
	対象校数	実施校数	受講者数	対象校数	実施校数	受講者数	対象校数	実施校数	受講者数	対象校数	実施校数	受講者数	回数
山形	8校	0校	0名	15校	1校	39名	18校	0校	0名	41校	1校	39名	13回
鶴岡	3校	2校	285名	4校	0校	0名	17校	3校	502名	24校	5校	787名	13回
米沢	3校	2校	885名	1校	0校	0名	15校	0校	0名	19校	2校	885名	14回
新庄	—	—	—	3校	1校	17名	8校	1校	74名	11校	2校	91名	7回
寒河江	—	—	—	—	—	—	6校	1校	200名	6校	1校	200名	3回
合計	14校	4校	1170名	23校	2校	56名	64校	5校	776名	101校	11校	2,002名	50回
昨年同月末の状況	14校	5校	731名	23校	5校	139名	64校	4校	411名	101校	14校	1,281名	

### (3)年金セミナー事業の取組結果

#### 取組結果

・アプローチ及び年金セミナーの実施状況については、昨年度同時期並みに推移しています。年度末までに予約をいただいている学校については確実に実施し、さらにアプローチを重ね1校でも多く実施できるように継続し取り組みます。

これまでの継続したアプローチの取り組みが最も重要であり、その成果として表されています。今後の課題として、取り組みの中心である、地域年金推進員の配置が1名不足(3名枠に対して2名配置)していることが挙げられます。地域年金推進委員の安定した配置ができるよう、引き続き県関係機関や上部機関に対して要請等取り組んでいきます

例年、年間実施件数の70%以上が12月以降の実施となっているため、引き続き、次年度の実施を見据えたアプローチ内容として、年度前半での実施についても検討していただくよう要請していきます。また、未開催の高等学校については、粘り強くアプローチを継続していきます。

中学校での実施については、年金ポスターコンクールへの応募校を中心に一部中学校に勧奨を行ってききましたが、11月現在実施できていません。中学校での実施に向けて、上部機関に対して要請することを検討していきます。

### 3 地域相談事業

#### (1) 年金事務所以外での出張年金相談の実施結果

年金事務所に出向くことが難しいお客様の利便性向上を図るため、出張年金相談を実施しています。年金相談の周知・広報については、「日本年金機構からのお知らせ」に記事を掲載するとともに、市町村広報誌においても記事掲載の協力を得て実施しています。

事務所	年間計画	実施場所	実施計画日/回数	11月末合計	相談者数
山形	14回	山形市役所	6月以降 / 1回 (第4木曜日) ※4月、5月は月2回実施	10回	52名
鶴岡	0回			0回	0名
米沢	4回	長井市役所	4月・7月・10月・1月に各1回	3回	24名
	4回	小国町役場	5月・8月・11月・2月に各1回	3回	22名
	4回	白鷹町中央公民館	6月・9月・12月・3月に各1回	2回	12名
新庄	12回	尾花沢市役所	毎月 / 1回 (第3水曜日)	8回	32名
	12回	大石田町役場	毎月 / 1回 (第2木曜日)	8回	43名
寒河江	1回	東根市役所	10月10日(随時)	1回	2名
合計	51回			35回	187名
昨年同月末の状況	86回			57回	261名

## (2)ハローワークにおける離職者を対象とした説明会の開催結果

県内ハローワークにおいて、離職者に対する国民年金の手続きの周知を図り、国民年金保険料免除制度についての説明や相談を実施しています。

開催事務所・場所	年間計画	11月末回数	参加人数
山形(ハローワーク山形)	24回	18回	2,835人
鶴岡(ハローワーク鶴岡・酒田)	110回	78回	2,154人
米沢(ハローワーク米沢)	55回	39回	1,264人
新庄(ハローワーク新庄)	26回	22回	558人
寒河江(ハローワーク寒河江・村山)	100回	70回	1,375人
合 計	315回	227回	8,186人
昨年同月末の状況	269回	199回	7,178人

### (3) その他の出張年金相談等の実施

#### ①行政監視行政相談センターの「合同行政相談所」における年金相談会の実施

山形行政監視行政相談センター主催の合同行政相談所に職員を派遣し、出張年金相談を行いました。

事務所	開催場所	開催日	相談者数	対象地区
山形	山形市役所	10月16日	1名	山形地区
新庄	最上広域交流センター ゆめりあ	10月8日	1名	新庄地区
寒河江	寒河江市ハートフル センター	7月23日(火)	1名	寒河江 村山地区
合計(昨年度)		3回(3回)	3名(5名)	

#### ②商業施設等における出張年金相談の実施

昨年、県内で初めて実施することができた大型商業施設を利用した年金相談会(11月の「ねんきん月間」及び11月30日「年金の日」の取組)の継続した取り組みとして、今年度は6月に前倒し実施することができました。

イオンモール天童において、イベント案内掲示や館内放送について協力していただきました。

事務所	開催場所	開催日	相談者数	チラシ配布
山形	イオンモール天童 1階センターコート	6月20日	23名	253部



イオンモール天童1階センターコートでの年金相談の様子



### ③イベント共催による年金相談の実施

11月6日、山形公共職業安定所主催の『福祉のしごとフェア2019』がビックウイングで開催され、昨年度に引き続き職員を派遣し、6名の相談がありました。

11月11日、人財育成推進・確保対策協議会主催(新庄地区)の『きて・みて・きいて就職面談会』がニューグランドホテル新庄で開催され、職員を派遣し、納付相談・制度説明会を実施しました。

### (4)地域相談事業の取組結果

#### 取組結果

- ・市町村での出張年金相談は、年間計画に基づき開催しております。引き続き、市町村と連携を図り、お客様のニーズを把握するとともに、予約枠を有効に活用し利便性を確保していきます。
- ・ハローワークにおける説明会については、昨年7月より村山でも開催することができ、参加者数は昨年を上回っています。
- ・合同行政相談所については、職員を派遣し共同開催しました。引き続き積極的に対応していきます。
- ・商業施設等での年金相談会の開催については、昨年に続いて山形年金事務所がイオンモール天童において開催することができました。今後も、開催の継続と会場の拡大が課題となりますが、県民が年金を身近に感じてもらう機会を増やすため、引き続き実施していきます。

## 4 年金委員活動支援事業

### (1) 年金委員への情報提供

実施年月	対象年金委員	内 容
6月	地域型	・広報誌「支えあい～年金委員だより」の送付
10月	地域型	・広報誌「支えあい～年金委員だより」の送付
		・「地域型年金委員活動の手引き」の送付
	・ねんきん月間、年金の日、予約相談のリーフレット及び「ねんきんネット」アクセスキー登録申込書の配布（連絡会）	
	職域型	・ねんきん月間についてのリーフレット・ポスターの送付
	職域型・地域型	・「年金生活者支援給付金」制度周知のリーフレット・ポスターの送付
11月	地域型	・障害年金ガイドのパンフレット配布（県内合同研修会）

### (2) 職域型年金委員研修会の実施

県内社会保険委員会及び各支部が主催する研修会に、積極的に講師として職員を派遣し、年金生活者支援給付金制度等法改正や在職老齢年金の仕組み、社会保険事務手続き等説明しました。また、各種役員会、研修会、意見交換会等を通じて年金委員活動の支援を行ってきました。

事務所	回数	受講者数	支援回数	11月末合計	年間計画
山形	3回	154名	6回	9回	13回
鶴岡	1回	102名	3回	4回	5回
米沢	7回	198名	1回	8回	10回
新庄	1回	25名	5回	6回	6回
寒河江	1回	57名	3回	4回	5回
合計	13回	536名	18回	31回	39回
昨年同月末の状況	12回	413名	13回	25回	31回

### (3) 年金委員委嘱拡大の取り組み

職域型については、全国健康保険協会山形支部と協力し実施している新規適用事業所に対する依頼文書の送付を基本に取り組んでいます。また、各事務所管内各種役員会等において、引き続き要請をしていきます。また、退職等により解職の連絡が入った際は、積極的に後任者の選出をお願いしています。

各事務所独自の取り組みとして、米沢年金事務所では、米沢商工会議所会報10月号に掲載をしていただきました。寒河江年金事務所では、7月に、健康保険委員の届はあるものの年金委員の届はない19事業所に対し文書勧奨したところ1件の申し出をいただきました。

地域型については、退職する職域型年金委員へ、地域型への移行をご案内をしてきました。厳しい状況ですが引き続き対応します。今後、山形年金事務所では県内全市町村、山形県社会保険労務士会、山形県年金協会連合会に対し委嘱要請を行います。

### (4) 年金委員委嘱者数の推移

事務所	平成30年度末 (A)			令和元年11月末 (B)			増減 (B)-(A)		
	職域型	地域型	合計	職域型	地域型	合計	職域型	地域型	合計
山形	588	46	634	600	47	647	12	1	13
鶴岡	414	15	429	412	14	426	▲2	▲1	▲3
米沢	407	14	421	407	14	421	0	0	0
新庄	135	5	140	134	5	139	▲1	0	▲1
寒河江	241	13	254	243	14	257	2	1	3
県内計	1,785	93	1,878	1,796	94	1,890	11	1	12
事業所数 (委嘱率)	19,160 (9.32%)	—		19,335 (9.29%)	—				



## (5) 年金委員の功労者表彰伝達式の実施

協会けんぽ山形支部、山形県社会保険委員会連合会、山形県社会保険協会との共催により、多年にわたり年金事業の推進及び発展に貢献された年金委員の方々に表彰状が伝達されました。併せて山形県社会保険委員会連合会役員研修会が開催されました。

【開催日】 令和元年11月20日(水)

【開催場所】 山形グランドホテル

【受賞者】	厚生労働大臣表彰	1名
	日本年金機構理事長表彰	4名
	日本年金機構理事表彰	13名

※健康保険委員からは厚生労働大臣表彰1名、全国健康保険協会理事長表彰4名、全国健康保険協会山形支部長表彰11名が受賞されました。



表彰伝達式における委員研修会の様子



表彰伝達式の様子

## (6)年金委員活動支援事業の取組結果

### 取組結果

・職域型年金委員で組織されている社会保険委員会が主催する研修会等に、講師を派遣し支援を行ってきました。課題としていた年金事務所が主催する研修会については、昨年に引き続き、協会けんぽと合同で開催していきます。引き続き、協会けんぽと協力し実施していくことで、企業において、制度周知が図られるよう取り組みます。

情報提供としては、研修会等でのチラシやリーフレット配布や、全委員への郵送する等、機構が取り組む事業の周知と事業への協力要請を行いました。

・今後も文書勧奨を中心に委嘱拡大を図っていきますが、11月末現在、県内の年金委員総数は、前年度末委員数を維持している現状です。

職域型年金委員数は事業所数が増加している割には委嘱数が伸びていない状況は続いています。引き続き、事業主に対し協会けんぽと共同で文書勧奨を実施していくとともに、関係機関(団体)の会報等への掲載(依頼)をしながら委嘱拡大を進めていきます。なお、健康保険委員のみ設置の事業所に対しても同様に取り組んでいきます。

また、地域型年金委員は11月末現在は維持しておりますが、今年度末で更新(3年更新)対象となる方が多く、大きく減少することが予想されます。更新を希望されない方は、高齢者が多いこともあり、新たな委嘱拡大が重要課題となります。市町村をはじめ社会保険労務士会、年金協会連合会へ委嘱の要請を行います。また、委員活動を支援するため、ご意見やご要望をお聞きする機会である、連絡会や研修会の充実を図っていきます。

## 5 「ねんきん月間」「年金の日」の取組

日本年金機構は、厚生労働省と協力して11月を「ねんきん月間」、11月30日(いいみらい)を「年金の日」と位置付け、県民の皆様に年金制度を理解していただけるよう、積極的に公的年金制度の周知や啓発活動を行いました。

事務所	取組結果	
山形県内 全年金事務所	令和元年度 年金委員・健康保険委員功労者表彰伝達式及び山形県社会保険委員会連合会役員研修会	ねんきん月間
	各地区社会保険委員会役員会(研修会)、年金委員連絡会(研修会)	
	年金相談窓口の開設(年金事務所内)	年金の日
	国民年金保険料納付相談会(年金事務所内)	年金の日
	令和元年度「山形県社会保険協会 社会保険事務講習会」	通常事業
	ハローワークにおいて離職者を対象とした説明会	
	高校・大学等へ年金セミナー実施のアプローチ及び年金セミナー	
山形・米沢・新庄	出張年金相談	ねんきん月間
山形年金事務所	福祉のしごとフェア2019(共催)	
	山形県職員退職者会山形支部研修会	
寒河江年金事務所	東根市さくらんぼタントクルセンターにおいて国民年金納付相談会	
新庄年金事務所	きて・みて・きいて就職面談会において納付相談・制度説明会	

## 6 「わたしと年金」エッセイ

国民の皆様には年金制度に対する理解を深めていただくため、中学生以上を対象に公的年金をテーマとしたエッセイの募集を行いました。

周知・広報については、教育機関、関係機関(団体)などにポスターやリーフレットの設置のご協力をいただいたほか、年金セミナーの実施とあわせて依頼しました。

【募集期間】 令和元年6月3日～令和元年9月13日

【賞】 厚生労働大臣賞、日本年金機構理事長賞ほか

【応募状況】 応募総数1184件のうち、山形県の応募件数0件



「わたしと年金」エッセイポスター

## 7 第11回山形県年金ポスターコンクール

東北厚生局をはじめ、山形県社会保険協会等7団体に後援をいただき、県内の中学生を対象として、年金制度に親しんでいただくため、年金をテーマとしたポスターを作成していただきました。

【募集期間】 令和元年6月10日～令和元年9月20日

【賞】 最優秀賞1点、優秀賞5点、入選5点  
東北厚生局長賞1点、山形県社会保険協会会長賞1点

【応募状況】 応募校16校、総数56件(昨年度15校、64件)  
入賞者には、各年金事務所で中学校を訪問し表彰を行いました。



中学校での表彰式の様子

## 8 山形県地域年金事業運営調整会議

### 第14回会議(令和元年7月17日開催)にかかる主なご意見と対応状況

事業種類	ご意見	対応状況
地域連携事業	<p>【年金制度周知の重要性】 いわゆる2000万問題など、年金に対する不安・不信が取りざたされているが、知識不足から来ているものと考え。制度の周知が重要である。若年者に対する啓発活動も大事。</p> <p>【大学での取り組みとのコラボ】 東北公益文科大学で高校生向けに、なぜ年金を納めるかという教育用の動画を作成しYOUTUBEで発信しており大変面白い取り組みと感じた。コラボなどできれば若年層への周知に役立つのではと思う。</p>	<p>わが国の公的年金制度は、高齢者の所得保障としてだけでなく、障害や一家の働き手が亡くなるといった不測の事態に備える保険として、国民生活にはなくてはならない極めて大切な役割を果たしており、将来に向けて安定的に運営されるためには、公的年金の意義や必要性について国民お一人おひとりへ啓発していくことが重要となっています。特に、これからの世代を担う中学、高校生や大学生には、年金制度を正しく理解したうえで制度に加入していただくことが不可欠であると考え、年金セミナーを継続して取り組みます。</p> <p>若年層向けの年金制度説明にあたっては、動画等の映像を使用することも効果的であると考えられます。年金セミナーを実施前に実施校と調整を行います。新たな教材開発のために、セミナー実施後のアンケート等により、ご意見・ご要望を伺ってまいります。</p>

事業種類	ご意見	対応状況
地域連携事業	<p><b>【家庭での年金話題の重要性】</b>            昨年まで社会科の教員をしていたが、授業の中でじいちゃんやばあちゃんが、どのくらい年金をもらっていると思うか生徒に問いかけると結構知っている生徒もいる。生徒たちに教えるだけではなく、家庭での話題になるように大人がもっとかかわっていかなければならない</p> <p><b>【エッセイから小論文へ】</b>            私と年金のエッセイについて、山形県の応募がゼロ件だった。エッセイとは身近なことから書くものなのでなかなか難しいと思う。エッセイではなく小論文にしてはどうか。大学入試の仕組みも変わってきており、小論文のコンクールのようなものにすれば、生徒への評価につながると考える。</p> <p><b>【学生から学ぶ新しい発想】</b>            社内では新しい発想を新しい人たちに考えてもらっている。本会議も低年齢化を図り、新しい発想を取り入れていければどうか。大学生に入ってもらうなど新しい取り組みにチャレンジしてくことができれば、マスコミも興味を示すと思う。</p>	<p>公的年金制度は、「世代と世代の支えあい」と言われるように、広く世代や地域・職域を超えた社会連帯のもとに成り立っています。「年金制度の仕組みや役割」について説明するとともに、「年金制度が生活の中にどう結びついているか」について家庭での話題となるよう工夫してまいります。</p> <p>高校生を対象としたご意見として、上部機関に報告いたしました。年金制度について関心を持っていただくために、「私と年金エッセイ」について、引き続き周知に努めます。</p> <p>具体的取組項目は出来ておりませんが、これからも年金セミナー等において、意見を伺いながら形にしたいと考えております。</p>

事業種類	ご意見	対応状況
地域相談事業	<p>【出張年金相談】 出張相談について、年金事務所に行くことなく相談ができて大変良い。回数と相談者数について地域的な偏りがあると思うが、年金事務所としてはどのように考えているか。また、今後はどのような方向で考えているか。</p> <p>【商業施設での出張年金相談】 自治体やイオンモールにて年金相談をしているがイオンモールのほうは相談者数が少ないようだが、効率化を目指しているのではないか。</p>	<p>市町村と連携を図り、引き続きお客様の相談ニーズを把握し実施いたします。また、相談ツールとして「ねんきんネット」の普及推進を図ります。</p> <p>地域住民の皆様が、年金を身近に感じてもらう取り組みとして重要であると考えております。各地域において実施できるよう努めてまいります。</p>
年金委員活動支援事業	<p>【地域型年金委員の委嘱】 年金委員の委嘱数が減っている、必要があれば社会保険労務士会に相談してほしい。</p>	<p>ご理解とご協力に感謝申し上げます。第4四半期に文書にて依頼することにしております。</p>

事業種類	ご意見	対応状況
年金セミナー事業	<p><b>【学校でのPVの活用】</b>  すべての学校に回することは不可能なので、PVを作成して各学校に配布し、時間のある時に見てもらおうことができたら良いと考える。</p> <p><b>【幼少時期からの年金環境づくり】</b>  ただ今のPVの話は大変良いと考える。非常に時間はかかるかもしれないが、年金は大事なものという気分を醸成していければと思う。そのためには高校、大学といわず幼少のころからそういった教育が必要。地域や家庭で興味を持ってもらえるように、公民館等の社会施設に年金が話題となるようなパンフレットを置くとかいろいろあると思う。</p>	<p>生徒のみなさんに年金制度を理解していただくための教材開発の参考として、ご意見を承りました。具体化に向けて、教育機関並びに関係機関の皆様から意見を伺いながら形にしたいと考えております。</p> <p>地域・家庭において、年金に関心を持ち、話題にさせていただくことは大変ありがたいことと思っております。地域公民館等におけるポスター掲示、パンフレットの備付けについては地域型年金委員の皆様のご協力をいただき実施しております。より多くの皆様から年金委員として活動していただけるよう、委嘱活動に取り組んでまいります。</p>
その他	<p><b>【運営調整会議】</b>  要綱に回数は乗っていない。山形県は年2回だが全国的に回数はどうか。時期をずらして1回でもよいのでは。</p> <p><b>【運営調整会議】</b>  似たような点が続いていると考えている。意見があった後に取り組む前に次の会議が開催されているように感じるので年1回でよいと考える。</p>	<p>ご意見をいただき検討させていただいた結果、年1回の実施とさせていただくことにしました。地域年金展開事業の充実に努めてまいります。</p> <p>上記に同じ</p>



## 9 ねんきんネットの利用促進

「ねんきんネット」は、年金記録の確認、将来の年金 見 額の試算、電子版「ねんきん定期便」の閲覧、各種通知書の確認や再交付申請などに対応しており、年々機能も充実しています。また、24時間利用可能となっています。

年金事務所では、「ねんきんネット」の利用促進を図るため、ポスター掲示やチラシの設置・配布を行い多くの方々に利用していただけるようご案内しています。

利用するためには、「ねんきんネットID」が必要となりますが、アクセスキーがあれば、速やかに「ねんきんネットID」を取得することができます。

手続きの利便性を高めるため、年金事務所では利用を希望されたお客様にはアクセスキーを即日発行しています。